

# 海上の運動

黃海の一戰敵の艦隊の大部分を破壊したるに就ては今後更に一二の海戦を經て彼の海軍力を全滅せしむるは敢て難きに非ず斯る上は海陸力を合せて旅順口、威海、渤海を鎮し海陸の聯絡困難を感するに至るときは或は北洋侵入は明春を期して渤海を封鎖し陸軍を上陸せしめて北京に侵入するの順序なればも天候寒を催ほして堅冰海を鎮し海陸の聯絡困難を感するに至るときは或は北洋の要處を占領して渤海を封鎖し陸軍を上陸せしめに至るやも圖る可らず果して左の場合は如何なる職務を盡す可らずと云ふに其冬季の間も最も海上の運動を要するの時なる可し抑も戰爭の遅延に就て彼の得失如何と云ふに速戰は我國の利益なる其反對に時日の遅延は彼の利たるや堅く可らず彼の海軍は既に戰闘力の半を失ひたるが故に海戦は最早や望なしとして其難む所は陸上の兵備のみなれど彼の陸軍の不整頓なる一たび常備の兵を派出せしむるときは其後を補充するの兵員は臨時に募集する程の大第にして兵器彈薬等諸般の軍需の如き素より平生の準備あるに非ず事に臨んで遽に製造するが或は他より買入るものにして瞬間に急に應するを得ず彼の幾萬の兵勇と稱するも只は赤手の流民乞食にして臺も忍るに足らざれども冬季の間に我運動自由ならずして一時封鎖の有無を以て之に及ばざりしは遠慮此上もなきことなり。

の後にも依然我國を蔑視して毫も悔悟の實を見ざるのみとならん今回出征の目的は單に彼政府の罪を糾すのみに止まらず世界の文明の爲めに彼の四億の人民の迷惑を除し四百餘州の未開を開かしむるに在りとすれば北京政府の謝罪降服のみにては實際に目的を達したるものに非ず我輩の甚だ遠慮に思ふ所にして戰争の永續ゐる好機会なれば其間には義勇艦隊の組織を自由にして南北いづれの地方を開拓す處の海岸を砲撃し又は土地を占領して日本人の腕前大に畏る可きの實を示し充分に彼等を懲戒するは今後永久の爲めに決して無益の勢に非ざる可しと信するなり

○乘艦記事  
十月廿日夜於某地  
陸派員官本芳之助  
得たり依て海洋調査に向て航行せしも敵艦既に退きて復影を留めず若し西海艦隊をして該海戦中に會せしめば敵艦を専一層破壊したるや明かなり僅かに一日の差にて之に及ばざりしは遠慮此上もなきことなり。

○震災續報  
山形縣  
日附を以て其筋に達する。本月二十二日午後五時十七分に終る二回の震動にて縣下全般に瀕る震動行進の方向は北方に響ける島海山に到り最も強く分岐して西田川郡の幾所に降り居れり之を數日前前より震るのみ。

味膏油より弱はしく生

又弱又濃かくの如きもの

大陸に於ける宏樓大殿の感をかねず

又弱又濃かくの如きもの

又弱又濃かくの如きもの